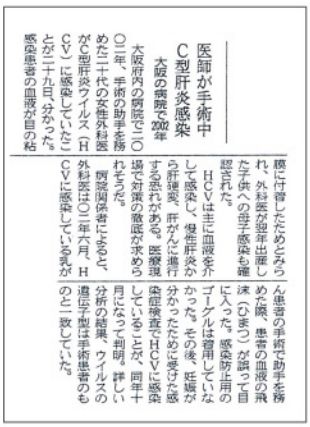
Medicom®　感染管理のメディコム

眼への曝露による感染は、
決して珍しい事例ではありません。



医師が手術中
C型肝炎感染
大阪の病院で02年

大阪府内の病院で二〇〇二年、手術の助手を務めた二十代の女性外科医（二十九）が、C型肝炎ウイルス（HCV）に感染していたことが二十九日、分かった。感染患者の血液が目の粘膜に付着したためとみられ、外科医が昨年出産した子供への母子感染も確認された。

HCVは主に血液を介して感染し、慢性肝炎から肝硬変、肝がんに進行する恐れがある。医療現場で対策の徹底が求められそうだ。

阪大病院関係者によると、外科医は〇二年六月、HCVに感染していること